

コージェネ大賞 2018「優秀賞」を初受賞！

＜大手町フィナンシャルシティグランキューブへの導入事例＞

連鎖型都市再生事業におけるコージェネレーションによる都市未利用熱の活用と面的融通システムの構築

丸の内熱供給株式会社は、一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センター（コージェネ財団）が主催する「コージェネ大賞 2018」において、株式会社三菱地所設計、三菱地所株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社、三菱 UFJ 信託銀行株式会社、独立行政法人都市再生機構と合同で応募した提案が、民生用部門において「優秀賞」を受賞しましたのでお知らせ致します。

当社は、今後もエリアの BCD[※]化への貢献、省エネルギーの推進を通じ、街の価値向上をリードしてまいります。
※…BCD (Business Continuity District) : 業務継続地区



連鎖型都市再生事業における コージェネレーションによる都市未利用熱の活用と 面的融通システムの構築 ～大手町フィナンシャルシティグランキューブへの導入事例～

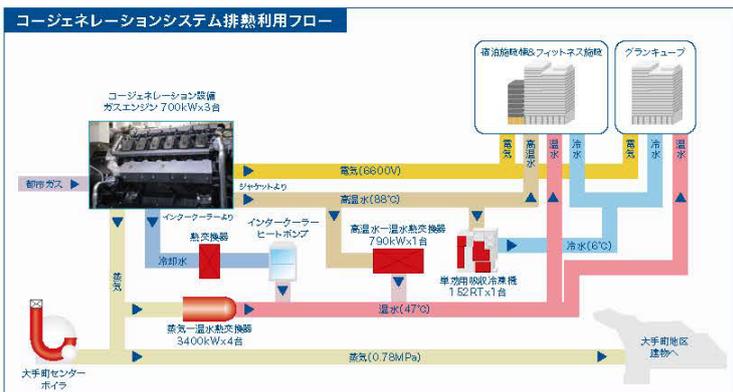
丸の内熱供給株式会社 株式会社三菱地所設計 三菱地所株式会社
三菱地所プロパティマネジメント株式会社
三菱 UFJ 信託銀行株式会社 独立行政法人都市再生機構

■ 地域冷暖房(DHC)効率向上に向けた取り組み

- ・関係者間で協議し、中間期や冬期は効率の高い当プラントを優先運用し、熱供給エリアの効率を向上。このような継続的な高効率化の取組により、連鎖型開発以前に対して大手町エリア DHC の冷熱源効率率は約 47%向上。
- ・都市未利用熱の活用として、コージェネインタークーラの冷却水を温水製造用ヒートポンプの熱源水として活用。また、中水（厨房排水や手洗い排水等）の熱をヒートポンプ熱源水として利用。

■ 防災性・電源セキュリティ性向上の取り組み

- ・停電時は非常用発電機（2,800 kW × 3 台、燃料は中圧ガス・A重油）とコージェネ（700 kW × 3 台、中圧供給）を同期運転。テナントへ 20VA/m²の電力、給湯および冷暖房負荷の 50%の供給。
- ・屋外に非常災害用井戸、地下に高度な水濾過設備を保有。飲料水や冷却水を製造。
- ・ビル内部に災害時に対応可能な汚水処理施設を設置。



【コージェネ大賞とは】

新規・先導性、新規技術、省エネルギー性等において優れたコージェネを表彰することにより、コージェネの社会的認知を図るとともに、より優れたコージェネの普及促進につなげることを目的とした表彰制度。

（名称：コージェネ大賞）

https://www.ace.or.jp/web/gp/gp_0010.html